

ボーイズリーグ(公益財団法人 日本少年野球連盟)は、国際目標として掲げられている『SDGs』理念・活動に賛同し、少年野球の普及および振興を図り、青少年の健全育成活動を継続的に行っていきます。

※SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称です。

3 すべての人に
健康と福祉を



野球を通して、子供たちの心と体の健やかな成長に寄与するとともに、練習過多や熱中症などから子供たちを守ります。

4 質の高い教育を
みんなに



野球を通して、スポーツの楽しさ、集団活動でのコミュニケーション能力の向上など社会人としての基礎を育成します。

5 ジェンダー平等を
実現しよう



野球は性別に関係なく、広く多くの青少年たちの競技として、女子も男子も共にプレーしています。

11 住み続けられる
まちづくりを



リーグは地域に根差したチームの集合体です。地域社会・学校とともに地域貢献していきます。

12 つくる責任
つかう責任



使用球場のごみ収集を行い、綺麗な球場の維持に協力します。また、バットやグラブなど大切な道具は引継ぎながら長く使えるように努めます。

16 平和と公正を
すべての人に



いじめや差別、偏見とは無縁の活動を行い、選手、スタッフ、父母、地域社会ともに目標に向かって行動しています。

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



野球後進国への未使用用具の寄付や世界大会等の海外交流事業を実施して、青少年の交流による世界平和の手助けも行っています。

